



プレーパークで自由に遊ぶ！

石神井・冒険遊びの会



1 プレーパークのはじまり！

午前9時30分。こどもたちとその保護者、PL（プレーリーダー）、そしてボランティアの方々によって次々に机やベンチ、ロープなどの道具が運ばれ、プレーパークの準備が進んでいきます。今日は「火起こし」のイベントがあるということで、かまども作られました。大人たちによって準備が進む中、子どもたちは大きな枝をひきずっていたり走ったり…ともうすでに遊び始めています。そして午前10時、プレーパーク開始です。この日は近隣の小学校が運動会だということで、子どもたちの数は少ないようでした。ちょっと寂しくなってしまうかな？と思いきや「今日はおとなが遊べるね！」とお母さんたち。毎回大人も一緒になって遊んでいるそう。さっそく



みんなで小枝を集めてきて火をおこしました。

都立石神井公園おべんと広場。 普段は樹木が生えているだけのこの広場で、子どもたちが走り回ってロープ遊び、泥んこ遊び、七輪でべっこうあめ作り…！「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、石神井冒険遊びの会のみなさんによって現在月2回ほどのペースで開催されている石神井プレーパークにおじゃましました。

3 食べることも楽しみの一つ

おこした火で、この日はお昼にニョッキ（おしゃれ！）作りが行われました。持ち寄った材料を使い、子ども達は楽しそうにニョッキを丸めていました。できあがったニョッキはとってもモチモチ、具たくさんのスープをかけてみんなで外で食べました。「プレーパークでは、子供が食べすぎてしまうんじゃないかというのが一番の心配事です(笑)」とはもう二年ほどプレーパークに来ているというお父さん。「外で食べるというのはやっぱり普段とは違うので楽しいのですね。なかなか行けないキャンプのような体験もここではできるので、良いと思っています。」



4 人とのつながり

子供たちが友達を作るだけでなく、ここではお母さん・お父さん同士の輪も広がっていきます。「私は人見知りですが、ここでは自然と話せますよ。」とあるお母さんが話してくれました。また、大人が「〇〇ちゃん、おはよう！」と自分の子供・他人の子供関係なく名前を呼んで話しかけていたのがとても印象的でした。「ここで遊んでいた子を町で見かけると、あ！と思いますね。」地域での人間関係もプレーパークを通じて広がっているようです。



2 プレーパークでの遊び

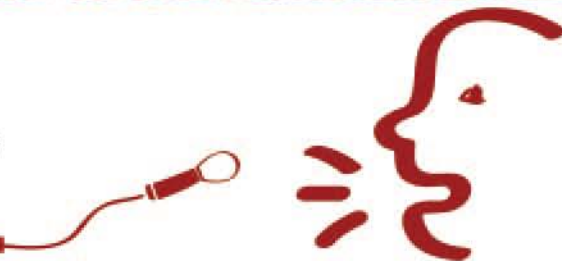
プレーパークは「やってみたいことを実現する」遊び場です。子どもたちはおもいおもいに水たまりで遊んだり、木の枝で遊んだり、ギターを弾いたり…なかでも七輪のまわりでべっこうあめを作るのが人気。火を使えば危ないこともあるかもしれませんが、プレーパークでは、小さな危険を経験することで大きな危険を避ける力がはぐくまれると考えています。こんな、普段できない体験もプレーパークならではの。大人が見守るなか、大きい子も小さい子も真剣に砂糖を熱していました。

まち活つうしん 4

ねりままちづくりセンター 取材日：2008.09.27



石神井・冒険遊びの会
世話人の須藤さんと
プレーリーダーのキムキムさんに
聞きました。



Q. 須藤さん、なぜプレーパークを始められたのですか？

(須藤) 子供が外で規制に縛られることなく自由に遊べる場所を、というお母さんたちの思いによってはじまりました。「何もない＝なんでもできる」ということがプレーパークの魅力です。はじめは「遊具がないと遊べない」という先入観があるので冒険遊び場に戸惑う大人や子供もいますが、時間がたつうちに「自由に遊ぶ」ということを理解してくれます。

Q. 今後の活動について教えてください。

(須藤) 今後はプレーパークの常設化を目指して活動していきたいと思っています。また、地域のニーズを反映させていくために来場者へのアンケートも行っています。

Q. 普段は障害者の介護をされているそうですが、プレーパークのプレーリーダーになったきっかけは何だったのでしょうか？

(キムキム) プレーパークは遊ぶ場。遊ぶことは変えること。土や火や紙、…身体(からだ)や道具(工具)を使って遊び場にある素材を変化させる…でもそれだけではない。遊びを通して人の心も変わっていくんだ。つくったもの出会った人たち、みんな影響しあってる。「遊び」は、「境界」を超えることなんじゃないかと思ってるよ。介護に携わっていると「命」についてよく考えます。障害者もここに来る人たちも一緒になって自然に遊べられる場所とつながりを、ここの石神井公園プレーパークに求めているよ。

練馬まちづくりセンターは

“まちづくり活動助成事業”で、

石神井・冒険遊びの会の活動を応援しています。
まちづくり活動助成事業とは、まちづくり活動を行っている団体を支援する事業です。当センターのまちづくり活動助成には3つの部門があります。

【はばたき部門】身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成です。

【たまご部門】これから身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に取り組むにあたり、事前の学習をおこなうこと に対する助成です。

【テーマ部門】身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで見ながら創りだす活動への助成です。

練馬まちづくりセンターとは…

練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

発行：(財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター

練馬区豊玉北 6-12-1 (区役所 東庁舎 6F) Tel 03-3993-5451・Fax 03-3993-8070・Eメール machi@nerimachi.jp・ホームページ http://nerimachi.jp

石神井・冒険遊びの会 について



設立 2004年4月

活動テーマ

「子どもの障害あるなし、国籍にかかわらず、子どもが、子ども時代に、子どもらしく過ごせる時間と場所」、そして、子育てが楽しいと思える地域づくりを目指す

活動内容

石神井プレーパークの運営

活動場所

都立石神井公園 おべんと広場



HP <http://syakujiipp.web.fc2.com/>
団体連絡 shakujiipp@gmail.com

取材日記

練馬まちづくりセンターにインターンシップで勤務している前川です。今回取材というかたちでプレーパークを訪れましたが、大人も子供もみんな本当に楽しそうにしている、私も思わず取材を忘れて楽しんでしまうほどでした。焚き火や木登りなど、機会や場所がなくなかなか実現できないことがプレーパークでは出来ます。このように思いきり遊んだ体験は、子供達が成長していく中で貴重なものになっていくだろうと思いました。子供の頃に知っていたら、行ってみたかったなあと思いましたが、今回の取材で私がお大人の方々に何度も「やります？」と勧めていただいたように、ここは大人も遊んでいいんです！今回まち活通信を見てプレーパークに興味をもってくださいました方は、是非一度プレーパークに足を運んで、一緒に遊んでみてはいかがでしょうか。